

登録日 2019/1/10

レジメン名 BRE020(個人限定)

腫瘍名 乳がん

申請医師 乳腺外科

投与スケジュール

nab-PTX+Pertuzumab+Tmab				21日毎 × PDまで			
				1コース		2コース	
				1	8	15	22 ... (Day)
①	デキサート 生理食塩水	6.6 mg 50 mL	点滴 15分	↓			↓
②	生理食塩水 (前投薬用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
③	パージェタ 生理食塩水	420 mg 250 mL	点滴 30分	↓			↓
初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能							
④	生理食塩水 (パージェタ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
⑤	トラスツズマブBS 蒸留水 生理食塩水	6 mg/kg 20~40 mL 250 mL	点滴 30分	↓			↓
初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能							
⑥	生理食塩水 (トラスツズマブ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
⑦	アブラキサン 生理食塩水	260 mg/m ² 100 mL	点滴 30分	↓			↓
⑧	生理食塩水 (アブラキサン用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓

注意事項

<p>【適応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術不能または再発乳癌の一次治療 パージェタ+トラスツズマブ+化学療法の治療歴がある進行、再発乳癌における三次治療以降(2022年12月27日) <p>【使用上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> パージェタおよびトラスツズマブは、病理結果にてHER2蛋白陽性者に限る。 パージェタおよびトラスツズマブは、初回投与の認容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。 トラスツズマブ初回投与時には、カロナールまたはNSAIDsなどの前投薬を検討する。 パージェタおよびトラスツズマブ投与の際には、心エコーによる心機能を確認する(CLEOPATRA studyの基準を参考に)。 LVEF40%未満、あるいは40~45%でベースラインからのLVEF低下が10%以上の場合、投与延期。 モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。 アブラキサンは、インラインフィルターを使用しない(アルブミン結合製剤のため、目詰まりを起こすため) 特定生物由来製品に該当することから、施用記録の保存は他の特定生物由来製品に準ずる。 <p>【投与延期してから再開する際の用量】</p> <ul style="list-style-type: none"> パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg) トラスツズマブ : 前回投与から6週未満 ⇒ 6mg/kg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 8mg/kg(次回以降6mg/kg)

参考文献

<p>1) Araki, <i>et al.</i> BMC Cancer, 18, 1-7 (2018).</p> <p>2) パージェタ、ハーセプチン、アブラキサン添付文書</p> <p>3) パージェタ適正使用ガイド</p> <p>4) Cancer Science, 113, 3169-3179 (2022).</p>
--